

I Excel マクロファイルをダウンロード

1 右図は、中央畜産会のHPのトップページ画面です。
画面の上部見出しにある「畜産関係情報」のページを選択します。

なお、以下のURLからも、「畜産ICT事業・楽酪GO事業情報提供ページ」を開くことができます。

<https://jlia.lin.gr.jp/ict-raku/>



2 畜産関係情報のページに遷移しますので、「経営・支援」の項目の中の「畜産ICT事業・楽酪GO事業情報提供ページ」を開きます。



3 「2 実施計画書の承認申請書の提出に当たって」の表内の提出ファイルの中に、畜産ICTの「酪農」「肉牛繁殖」「肉牛肥育」、楽酪GOの「酪農」のそれぞれの要望調査票(Excelマクロシート)が設置してあります。

畜産ICTの場合、3つのファイルの中から該当するものを選択します。

ここでは、畜産ICTの「酪農」について説明します。

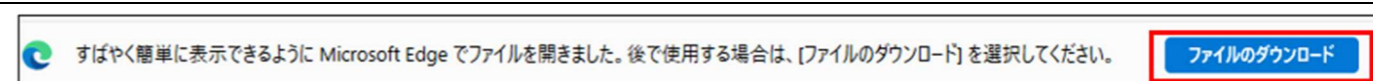
なお、「Excelマクロシート」は、これ以降の説明では、「ファイル」と表記します。

2. 実施計画書の承認申請書の提出に当たって (2026.4.22更新)

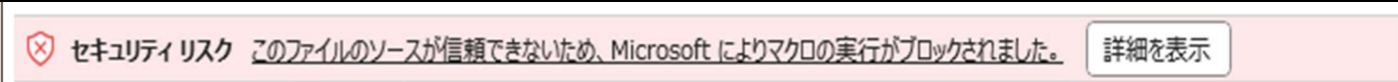
(1) 5月末日までの参加要望書・要望調査票のデータの作成・送信にあたって

区分	提出ファイル		作成者	提出者
	畜産ICT事業	楽酪GO事業		
①参加要望書	要望様式	要望様式	応援会議	応援会議
②要望調査票 (Excelマクロシート)	酪農 肉牛繁殖 肉牛肥育	酪農	労働負担軽減経営体	応援会議
(参考) マクロ手引き	畜産ICT手引き	楽酪GO手引き		

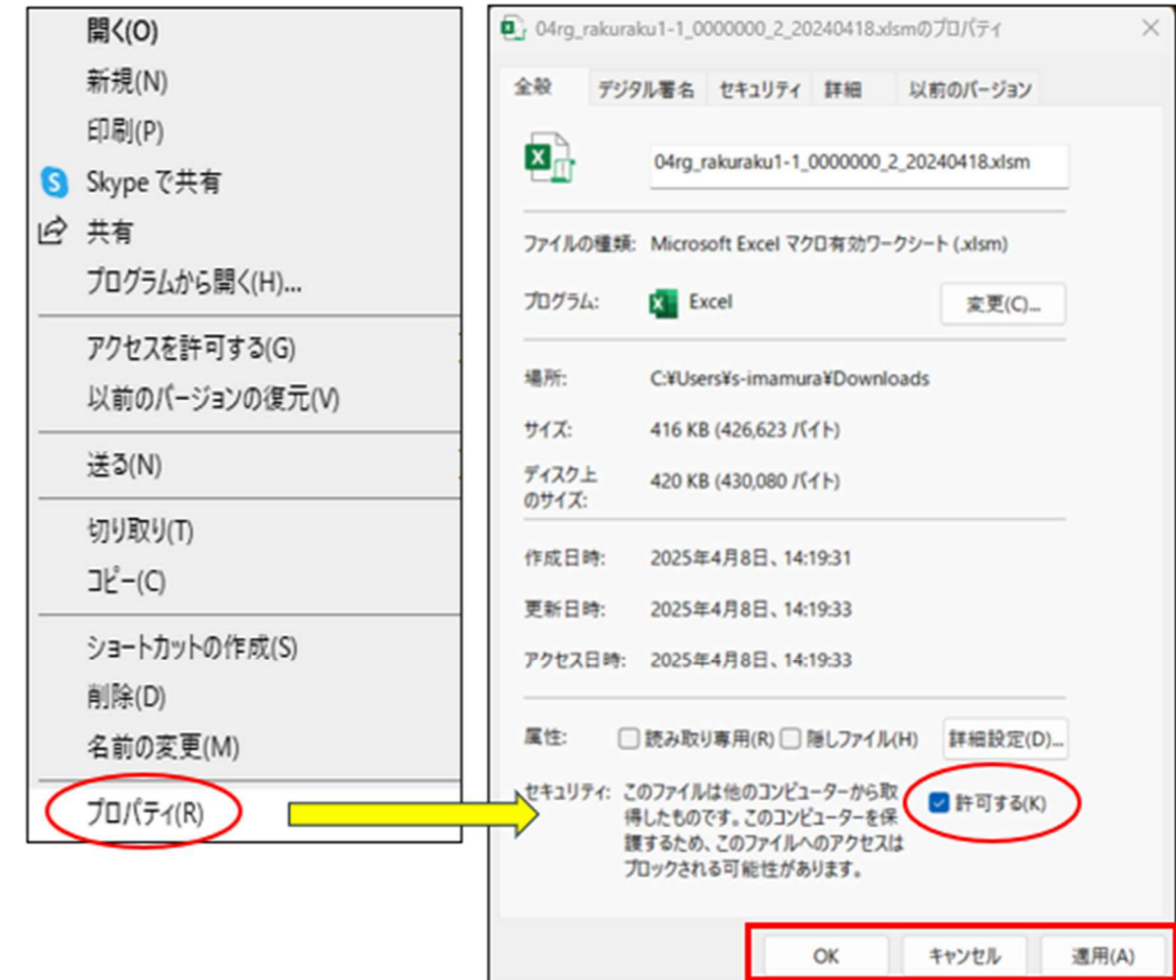
4 畜産ICTの「酪農」ファイル (01m_rakuraku1-1_0000000.xlsx) をクリックし、ダウンロードを開始します。「ファイルのダウンロード」を押下後、ダウンロードしたファイルを開き、「編集を有効にする(E)」⇒「コンテンツの有効化」を押下し、ファイルを開きます。



5 **編集を有効にする (E)** をクリックしたときに、**コンテンツの有効化**が表示されず、右図のセキュリティリスクが表示され、マクロの実行がブロックされている場合は、以下の手順で対応する。

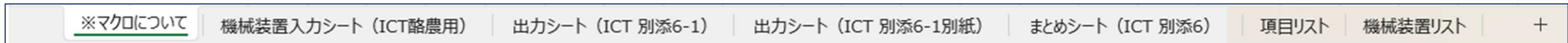


6 ダウンロードしたファイル **01m_rakuraku1-1_0000000.xlsxm** を右クリックし、メニューから**プロパティ**を選択します。
次に、【全般】タブの下部にあるセキュリティの **許可する** に を入れ、**適用** ⇒ **OK** をクリックし、このファイルをダブルクリックすると開けるようになります。



II ファイル 01m_rakuraku1-1_0000000.xlsx を開く (ワークシートの構成) 経営体 作業

1 ファイルを開くと、次の7つのワークシートが確認できます。



2 各ワークシートの使用目的は以下のようになっています。

ワークシート名	使用の目的	主な使用者
※マクロについて	○本マクロ使用にあたっての注意事項の記載があります。作業前によくお読みください。	経営体
機械装置入力シート	○ 労働負担軽減経営体は、このシートで入力を行います。 なお、入力手順は、次の手順Ⅲ (4頁) から手順Ⅴ (10頁) までに記載しています。 ○ここで入力された内容が各シートに反映されます。	経営体
出力シート (ICT 別添6-1)	○機械装置入力シートで必要事項を入力後、プリントアウトすれば、 提出書類「要望調査票 (別添6-1)」 になります。 ○最終出力ページに、「補助金及び要望調査に関する確認書」がありますので、 必ずプリントアウトして提出して下さい。	経営体
出力シート (ICT 別添6-1別紙1)	○施設整備の要望を行う場合、機械装置入力シートで施設整備等要望を入力後、プリントアウトすれば、 提出書類「施設整備要望調査票 (別添6-1別紙)」 になります。	経営体
まとめシート (ICT 別添6)	○応援会議は、当該シートのデータをコピーし、 <u>別ファイル</u> 「 参加要望書 (別添6) 」に貼り付けていただければ、容易に書類作成 (入力) できます。 ○作成後、実施計画書承認申請書 (別記様式第2号) に添付し提出して下さい。	応援会議
項目リスト	使用しません。	(管理用です。)
機械装置リスト	使用しません。	(管理用です。)

III 「機械装置入力シート」：機械装置の入力 経営体 作業

- ① 都道府県名：プルダウンで都道府県を選択してください。 **必須入力**
- ② 応援会議名：都道府県名を選択後、応援会議名をプルダウンで選択できるようになります。応援会議が登録済みの場合、プルダウン選択してください。
なお、登録済の応援会議の場合、会議の代表者名も自動セットされます。
- ③ 申込年月日： **必須入力**
- ④ 住所： **必須入力**
- ⑤ 法人名称又は氏名： **必須入力**
なお、申請者の住所はリース契約段階で修正となる事例が大変多いので、申請者の **所在する住所** を正しく記入してください。

機械装置の入力（酪農用）

応援会議番号： ←県内の会
 都道府県名： ※プル

申込年月日 ③

応援会議名
 会議の代表者名 ②

住所 ④
 法人名称又は氏名 ⑤
(法人の場合 代表者名)

応援会議が未登録または新規の応援会議の場合、既存の応援会議名入力欄の下にある **新規登録** にチェックを入れ、応援会議名と代表者名を手入力で新規登録します。（新規登録にチェックを入れた場合、既存の応援会議名入力欄は入力不可になります）

新規登録

新規応援会議名
 会議の代表者名

- 1 経営の概況（令和8年5月1日現在）
- ① 経産牛頭数と労働力は **必須入力** です。年間総労働時間は経産牛頭数から自動計算が行われますので、入力不要です。
畜産ICTの場合、 酪農 肉牛繁殖 肉牛肥育 ごとに **牛の頭数に上限** が決められています。
(頭数上限は右記の表1を参照)
上限頭数超える場合はエラーとなり、登録不可です。
 - ② 計算方法は、「総労働時間」または「飼養管理労働時間」のいずれかを選択してください。

1 経営の概況（令和8年5月1日現在）

① 経産牛頭数	120	頭
労働力	6	人
年間総労働時間	10,902	時間

②

総労働時間で計算
 飼養管理労働時間で計算

上限頭数

酪農用：150頭 ※
 繁殖用：100頭
 肥育用：200頭

※今年度より、酪農の上限が150頭になりました。

- 2 機械装置の導入関係
- (1) 搾乳方式の改善
- ① 現在の状況
- | | |
|------------|---|
| 現在の搾乳方式 | プルダウンからの現状の搾乳方式を選択します。
(必須入力) |
| 自動乳頭洗浄機の保有 | 現在、自動乳頭洗浄機を保有している場合、プルダウンで「○」を選択します。 |

①現在の状況

現状の搾乳方式：

自動乳頭洗浄機の保有：

②導入希望の機械装置

機械装置の種類	搾乳方式
	<input type="text" value="バケット及びパイプライン方式（自動離脱装置あり）"/> <input type="text" value="バケット及びパイプライン方式（自動離脱装置なし）"/> <input type="text" value="バケット及びパイプライン方式（自動離脱装置あり）"/> <input type="text" value="搾乳ユニット手動搬送方式（自動離脱装置なし）"/> <input type="text" value="搾乳ユニット手動搬送方式（自動離脱装置あり）"/> <input type="text" value="搾乳ユニット自動搬送方式"/> <input type="text" value="ミルクングバーラー方式（自動離脱装置なし）"/> <input type="text" value="ミルクングバーラー方式（自動離脱装置あり）"/> <input type="text" value="搾乳ロボット方式"/>

② 導入希望の機械装置

搾乳方式で導入希望の機械装置がある場合、機械装置の種類を選び、機械装置のメーカー名・型式・台(式)数・見積金額(税抜)の計を入力してください。

※メーカー名・型式について、機械装置リストに掲載されている機械装置は、プルダウン方式となっています。

必ずメーカー名→型式の順で入力してください。

※台(式)数・見積金額(税抜)の計は手入力してください。

※現況の搾乳方式と導入希望の機械装置の組み合わせによっては、右図のようにエラー表示(赤セル)になる場合があります。

【(別添) 選択可能な組み合わせ表 参照】

②導入希望の機械装置		搾乳ユニット搬送レール		ミルカー 自動離脱装置
機械装置の種類	搾乳ロボット	自動搬送方式	手動搬送方式	
機械装置のメーカー名	LELY			ストランゴ
型式	A4			ソフィマットHD
台(式)数		1		1
見積金額(税抜)の計		25,000,000		5,000,000
消費税額		2,500,000		500,000

現状と同種搾乳方式の導入(増設及び機能性向上をした機械装置を含む)を希望します(別紙説明資料あり)

保有機械装置の能力に対し、搾乳頭数が計画に比べて増頭しており、現状として過剰な労働時間であり同種の機械装置の導入を希望する場合、また事業開始初期に導入した機械装置でも機能性向上が図られた同種の機械装置の導入を希望する場合、チェックボックスに✓を入れてください。同種の機械装置導入が可能となります。但し、専門委員会の承認が必要であるため、**説明資料の提出が必要**です。

条件①

現状と同種搾乳方式の導入(増設及び機能性向上した機械装置を含む)を希望します(別紙説明資料あり)

▶同種の機械装置を導入(増設)

ミルカー自動離脱装置の増設を希望する場合、▶同種の機械装置を導入の **増設** の選択してください。

条件①: 「 現状と同種搾乳方式の導入(増設及び機能性向上した機械装置を含む)を希望します(別紙説明資料あり)」に✓があること。

条件②: 現状の搾乳方式が、バケット及びパイプライン方式、搾乳ユニット手動搬送方式、ミルクパーラー方式(いずれも自動離脱あり)、搾乳ユニット自動搬送方式であること。

条件③: 導入希望の機械装置にミルカー自動離脱装置の入力があること。

▶同種の機械装置を導入

増設 パーラー方式変更

現状のパーラー方式 ストール数

条件③

ミルカー 自動離脱装置	
オリオン機械	
OCR5000A	
	8
	1,200,000
	120,000

条件②

①現在の状況

現状の搾乳方式: ミルクパーラー方式(自動離脱装置あり)

▶同種の機械装置を導入(パーラー方式変更)

ミルクパーラーの方式変更を希望する場合、▶同種の機械装置を導入の **パーラー方式変更** を選択してください。

条件①: 現状と同種搾乳方式の導入(増設及び機能性向上した機械装置を含む)を希望します(別紙説明資料あり)に✓があること。

条件②: 現状の搾乳方式が、ミルクパーラー方式(自動離脱装置あり)

条件③: 導入希望の機械装置のミルクパーラーに入力があること。

条件④: 現状のパーラー方式(プルダウン選択)、ストール数(手入力)に入力があること。

▶同種の機械装置を導入

増設 パーラー方式変更

現状のパーラー方式 パラレル ストール数

条件③

ミルクパーラー	
ミルクライン	
ミルプロP4C	
	1
	30,000,000
	3,000,000

条件②

①現在の状況

現状の搾乳方式: ミルクパーラー方式(自動離脱装置あり)

搾乳方式チェック

搾乳方式の改善の必要項目の入力が完了したら、**搾乳方式チェック** ボタンを押下します。

入力内容に問題がない場合、削減労働時間の自動計算結果が表示されます。
現状と同種搾乳方式の導入（増設及び機能性向上した機械装置を含む）を希望します（別紙説明資料あり）に✓を入れてある場合は、**削減労働時間の手入力**が必要となります。

また入力内容に不備がある場合、自動計算は行われません。

エラー表示（赤セル）部分を修正し、再度 **搾乳方式チェック** を押下してください。

搾乳方式チェック チェックボタン押下時自動計算 時間 一手入力での削減時間の申請が必要な場合、こちらに記入してください。

機械装置の種類	搾乳ロボット	ミルクパーラー	搾乳ユニット搬送レール		ミルカー自動離脱装置
			自動搬送方式	手動搬送方式	
機械装置のメーカー名					デラバル
型式					MUブルー
台(式)数					3
見積金額（税抜）の計					3,000,000
消費税額					300,000

エラー箇所はセルが赤く表示されます。

(2) 給餌方式の改善

① 現在の状況

現在、保有している機械装置がある場合、プルダウン選択で「○」を入力します。

② 導入希望の機械装置

導入希望の機械装置がある場合、機械装置の種類を選び、機械装置のメーカー名・型式・台(式)数・見積金額（税抜）の計を入力してください。

※メーカー名・型式は、機械装置リストに掲載されている機械装置は、プルダウン方式となっています。

必ずメーカー名→型式の順で入力してください。

※台(式)数・見積金額（税抜）の計は手入力してください。

※現況の給餌方式と導入希望の機械装置の組み合わせによっては、エラー表示（赤セル）になる場合があります。

【別添 選択可能な組み合わせ表 参照】

同種機械装置の導入（機能性向上した機械装置を含む）を希望します（別紙説明資料あり）

機械装置老朽化等により、同種の機械装置の導入を希望する場合、チェックボックスに✓を入れてください。同種の機械装置導入が可能となります。但し、専門委員会の承認が必要であるため、**説明資料の提出が必要**です。

(2) 給餌方式の改善

同種機械装置の導入（機能性向上した機械装置を含む）を希望します（別紙説明資料あり）

①現在の状況

↓現在保有の機械装置に「○」をプルダウン選択。全て未選択の場合は「人力による給餌方式」が自動選択。

機械装置の種類	自動給餌機（濃厚・粗飼料用）	自動給餌機（濃厚飼料用）	餌寄せロボット	自走式配餌車
機器の保有状況	○			

飼料給与関係機械装置の保有状況：

自動給餌機（濃厚・粗飼料用）

②導入希望の機械装置（給餌）

機械装置の種類	自動給餌機（濃厚・粗飼料用）	自動給餌機（濃厚飼料用）	餌寄せロボット	自走式配餌車
機械装置のメーカー名	GEA			
型式	M2000			
台(式)数	1			
見積金額（税抜）の計	5,000,000			
消費税額	500,000			

稲わら細断機の導入について

稲わら細断機の機械装置導入を希望する場合、**委員会対応要/別途説明資料有**をプルダウン選択で「○」を選ぶことで、稲わら細断機の導入が可能になります。稲わら細断機のメーカー名・型式はプルダウン選択。台（式）数・見積金額（税抜）の計は、手入力してください。

委員会対応要/別途説明資料有をプルダウンで「○」の選択をせずに、稲わら細断機の機械装置導入を入力した場合、右図のようにエラー表示（赤セル）となります。

※稲わら細断機導入希望の場合、必ず**説明資料を提出**してください。



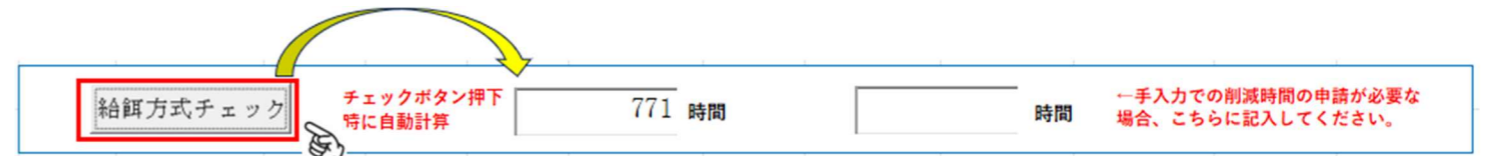
給餌方式チェック

給餌方式の改善の必要項目の入力が完了したら、**給餌方式チェック**ボタンを押下します。入力内容に問題がない場合、削減労働時間の自動計算結果が表示されます。

(□同種機械装置の導入(機能性向上した機械装置を含む)を希望します(別紙説明資料あり)に✓を入れてある場合は、**削減労働時間の手入力**が必要となります)

また入力内容に不備がある場合、自動計算は行われません。

エラー表示(赤セル)部分を修正し、再度**給餌方式チェック**を押下してください。



(3) 家畜飼養管理の改善

① 現在の状況

現在、保有している機械装置がある場合、プルダウン選択で「○」を入力します。

② 導入希望の機械装置

導入希望の機械装置がある場合、機械装置の種類を選び、機械装置のメーカー名・型式・台（式）数・見積金額（税抜）の計を入力してください。

※メーカー名・型式は、機械装置リストに掲載されている機械装置は、プルダウン方式となっています。

必ずメーカー名→型式の順で入力してください。

※台（式）数・見積金額（税抜）の計は手入力してください。

□同種機械装置の導入(機能性向上した機械装置を含む)を希望します(別紙説明資料あり)

機械装置老朽化等により、同種の機械装置の導入を希望する場合、チェックボックスに✓を入れてください。同種の機械装置導入が可能となります。但し、専門委員会の承認が必要であるため、**説明資料の提出が必要**です。

(3) 家畜飼養管理の改善

<input checked="" type="checkbox"/> 同種機械装置の導入(機能性向上した機械装置を含む)を希望します(別紙説明資料あり)							
(繁殖管理) ↓現在保有の機械装置に「○」をプルダウン選択。 ①現在の状況 全て未選択の場合は「人力による観察方式」が自動選択。				(放牧管理) ↓現在保有の機械装置に「○」をプルダウン選択。 ①現在の状況 全て未選択の場合は「人力による観察方式」が自動選択。			
機械装置の種類	発情発見装置	分娩監視装置	行動監視装置(繁殖)	機械装置の種類	行動監視装置(放牧)		
機器の保有状況	○			機器の保有状況			
家畜飼養管理機械装置の保有状況: 発情発見装置				放牧管理機械装置の保有状況: 人力による観察方式			
②導入希望の機械装置				②導入希望の機械装置			
機械装置の種類	発情発見装置	分娩監視装置	行動監視装置(繁殖)	機械装置の種類	行動監視装置(放牧)		
機械装置のメーカー名	MSDアニマルヘルス			機械装置のメーカー名			
型式	Mn Neck Tag Flex			型式			
台(式)数	1			台(式)数			
見積金額(税抜)の計	2,000,000			見積金額(税抜)の計			
消費税額	200,000			消費税額			
(除糞作業) ↓現在保有の機械装置に「○」をプルダウン選択。 ①現在の状況 全て未選択の場合は「バースクレーパー」による除糞。				(敷料散布作業) ↓現在保有の機械装置に「○」をプルダウン選択。 ①現在の状況 全て未選択の場合は「人力による敷料散布」が自動選択。			
バースクレーパーの保有: ○				敷料散布機の保有: ○			
家畜飼養管理機械装置の保有状況: バースクレーパーによる除糞				家畜飼養管理機械装置の保有状況: 人力による敷料散布			
②導入希望の機械装置				②導入希望の機械装置			
機械装置の種類	バースクレーパー			機械装置の種類	敷料散布機		
機械装置のメーカー名				機械装置のメーカー名			
型式				型式			
台(式)数				台(式)数			
見積金額(税抜)の計				見積金額(税抜)の計			
消費税額				消費税額			

<p>バークリーナーの導入について</p> <p>バークリーナーの機械装置導入を希望する場合、委員会対応要/別途説明資料有をプルダウン選択で「○」を選ぶことで、バークリーナーの導入が可能になります。バークリーナーのメーカー名・型式・台(式)数・見積金額(税抜)の計は、すべて手入力してください。</p> <p>委員会対応要/別途説明資料有をプルダウンで「○」を選択せずに、バークリーナーの機械装置導入を入力した場合、エラー表示(赤セル)になります。</p> <p>※必ず、説明資料を提出してください。</p>	<p>バークリーナーの導入を希望する場合、専門委員会の承認が必要です。削減時間を手入力で記入してください。</p> <p>委員会対応要/別途説明資料有 <input type="radio"/></p> <p>バークリーナーの導入を希望する場合、専門委員会の承認が必要です。削減時間を手入力で記入してください。</p> <p>委員会対応要/別途説明資料有 <input type="radio"/></p> <table border="1" data-bbox="1308 363 1581 646"> <tr><td>バークリーナー</td></tr> <tr><td>オリオン機械</td></tr> <tr><td>BCB-8ASM</td></tr> <tr><td>1</td></tr> <tr><td>4,500,000</td></tr> <tr><td>450,000</td></tr> </table> <table border="1" data-bbox="1834 373 2107 657"> <tr><td>バークリーナー</td></tr> <tr><td>オリオン機械</td></tr> <tr><td>BCB-8ASM</td></tr> <tr><td>1</td></tr> <tr><td>4,500,000</td></tr> <tr><td>450,000</td></tr> </table> <p>○がない場合、導入不可</p>	バークリーナー	オリオン機械	BCB-8ASM	1	4,500,000	450,000	バークリーナー	オリオン機械	BCB-8ASM	1	4,500,000	450,000
バークリーナー													
オリオン機械													
BCB-8ASM													
1													
4,500,000													
450,000													
バークリーナー													
オリオン機械													
BCB-8ASM													
1													
4,500,000													
450,000													
<p>飼養管理チェック</p> <p>家畜飼養管理の改善の必要項目の入力が完了したら、飼養管理チェックボタンを押下します。入力内容に問題がない場合、削減労働時間の自動計算結果が表示されます。</p> <p>(□同種機械装置の導入(機能性向上した機械装置を含む)を希望します(別紙説明資料あり)に✓を入れてある場合、および稲わら細断機・バークリーナー導入の場合は、削減労働時間の手入力が必要となります)</p> <p>また入力内容に不備がある場合、自動計算は行われません。エラー表示(赤セル)部分を修正し、再度飼養管理チェックを押下してください。</p>	<p>飼養管理チェック チェックボタン押下時に自動計算 <input type="text" value="0"/> 時間 <input type="text" value="220"/> 時間</p> <p>手入力</p> <p>稲わら細断機またはバークリーナーの単独での導入要望時は、「労働時間削減効果分析の結果」は自動計算されません。</p> <p>※稲わら細断機及びバークリーナーの単独の機械導入の場合は、労働時間の自動計算はされないことをご承知おきください。</p>												
<p>3 機械装置の導入方式</p> <p>「リース方式」または「購入方式」か、いずれかをプルダウンで選択してください。必須入力です。</p>	<p>リース方式 <input type="text" value="リース方式"/> ※プル</p> <p>3) の <input type="text" value="リース方式"/> <input type="text" value="購入方式"/></p>												
<p>(2) 削減労働時間の検証方法</p> <p>「機械導入前後で作業日誌等により労働時間を計測・記録して検証する」または「支援機関と導入前後の作業時間を検証する」のいずれかをプルダウンで選択してください。必須入力です。</p>	<p>(2) 削減労働時間の検証方法 <input type="text" value="機械導入前後で作業日誌等により労働時間を計測・記録して検証する"/> ※</p> <p><input type="text" value="機械導入前後で作業日誌等により労働時間を計測・記録して検証する"/> <input type="text" value="支援機関と導入前後の作業時間を検証する"/></p>												

5 機械装置の導入に伴う飼養管理の改善への取組

1 後継者①②、2 乳用後継牛①②、3 その他①～⑫の中から、該当する飼養管理の改善への取組がある場合、それぞれプルダウンで「○」を選択してください。

※購入方式を選択している場合、その他①②は必須入力です。

令和7年度より、その他に「⑩ 農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用に関する法律（令和6年法律第63号）に基づく生産方式革新実施計画の認定を受けている経営」が追加されています。

※施設整備等の導入を要望する場合、⑩に「○」が必須です。

3 その他	① 地震・台風等の災害等に備えた、地域における互助協定に参加する経営	災害互助協定書 等	0.95
(複数回答可)	② 畜産（酪農）従事者の疾病時等の経営継続に備えた、地域における互助協定に参加する経営	地域の酪農家が相互で締結している疾病時等の互助協定書 等	0.95
	③ 地震・台風等により被災した経営	罹災証明書、被災した時に撮影した畜産施設等の写真 等	0.90
	④ 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業による補助を受けていない経営		0.95
	⑤ 牛群検定に加入している経営	牛群検定成績表（乳検成績表）	0.90
	⑥ 供用期間の延長等を図るため、自給飼料の飼料分析や技術者との意見交換を定期的に行う経営	自給飼料の分析結果、地域の支援組織や団体等が開催する自給飼料に関する勉強会の資料 等	0.95
	⑦ 応援会議の構成員の中で、JGAP家畜・畜産物の認証農場又は、GAP取得チャレンジシステムの確認済み農場がある場合	JGAP認証リスト	
	⑧ 応援会議の構成員の中に、農場HACCP認定農場がある、又は農場HACCP推進農場として指定されている経営がある場合	農場HACCP認定書 等	
	⑨ 環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律（令和4年法律第37号。）に基づく環境負荷低減事業活動実施計画又は特定環境負荷低減事業活動実施計画の認定を受けている経営	環境負荷低減事業活動実施計画（写）	
	⑩ 農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用に関する法律（令和6年法律第63号）に基づく生産方式革新実施計画の認定を受けている経営	生産方式革新実施計画（写）及び農林水産大臣の認定を受けたことが確認できる資料（写）または生産方式革新実施計画（写）及び地方農政局長等に対し認定の申請をしたことが確認できる資料（写）	0.80
	⑪ 作業安全に関する取組を実施している経営	「作業安全シート」の提出	0.90
	⑫ その他、地域への貢献度が高い取組と事業実施主体が特に認めた取組に参加する経営	経営コンクールの表彰状 等	0.90

⑩ 農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用に関する法律（令和6年法律第63号）に基づく生産方式革新実施計画の認定を受けている経営

○

画面上部と画面下部に「チェック」 「d 転記 d」 「クリア」 ボタンが設置されています（上部と下部のそれぞれのボタンの機能は同じです）

「チェック」：すべての入力内容についてのチェックを行ないます。

d 転記 d：入力シートの内容をまとめシートに転記します。

クリア：入力した内容をすべてクリアします。

チェック 転記 クリア

すべての入力作業が終わってから、「チェック」ボタンを押下してください。入力に不備がある場合、エラー表示（赤セル）になります。エラー箇所を修正して、再度「チェック」ボタンを押下してください。

4 機械装置導入により想定される労働時間の削減効果

(1) 労働負担軽減経営体における削減労働時間

① 画面上部または画面下部にある「チェック」ボタンを押下します。

② 「(1) 労働負担軽減経営体における削減労働時間」に各項目ごとの削減労働時間の積算結果が表示されます（自動計算結果と手入力の両方に表示がある場合は手入力の値が積算時に優先されます）

4 機械装置導入により想定される労働時間の削減効果

(1) 労働負担軽減経営体における削減労働時間

チェックボタン押下後、自動計算されます 2,279 時間

チェック 転記 クリア

6 労働時間削減効果分析の結果

(2) 労働負担軽減経営体における削減労働時間

① 画面上部または画面下部にある「チェック」ボタンを押下します。

② 「6 労働時間削減効果分析の結果」に自動計算結果が表示されます。（補助金申請額（税抜）の合計額/削減が期待される年間総労働時間（時間）×係数/10000、小数点第4位以下を切り捨て）

6 労働時間削減効果分析の結果

チェック 転記 クリア

【自動計算】 0.153

※チェックボタン押下後、自動計算されます

補助金申請額（税抜）の合計額/削減が期待される年間総労働時間（時間）×係数/10000、小数点第4位以下を切り捨て

稲わら細断機またはパーンクリーナーの単独での導入要望時は、「労働時間削減効果分析の結果」は自動計算されません。

※労働時間削減効果分析の結果は、別添4の「労働時間削減効果分析」の第2「評価点数の算出式」に基づき算出します。

IV 「機械装置入力シート」：施設整備等要望の入力

経営体 作業

▶施設整備等を要望する場合

5 機械装置の導入に伴う飼養管理の改善への取組の3 その他⑩「農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用に関する法律（令和6年法律第63号）に基づく生産方式革新実施計画の認定を受けている経営」で「○」を選択します。

⑩ 農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用に関する法律（令和6年法律第63号）に基づく生産方式革新実施計画の認定を受けている経営	○	生産方式革新実施計画（写）及び農林水産大臣の認定を受けたことが確認できる資料（写）または生産方式革新実施計画（写）及び地方農政局等に対し認定の申請をしたことが確認できる資料	0.80
---	---	--	------

2 施設整備の概要等

(1) 事業の内容等 << (参考) 導入機械装置 >>

- ① 機械装置名：施設整備等要望の有無に係らず【必須入力】
2 機械装置の導入関係 で入力した機械装置を選択します。
- ② 機械価格（税抜）：機械装置名を入力後、自動でセットされます【必須】
- ③ 数量（式・台）：機械装置名を入力後、自動でセットされます【必須】
- ④ 単価（付属機器を除く）：任意入力
※導入希望の機械装置の単価を入力すること。
- ⑤ 補助事業の活用状況：「当該事業」固定表示
他事業活用の場合の事業名：「当該事業」が固定表示であるため、入力不要です（グレーアウト）

<< (参考) 導入機械装置 >>

機械装置名	機械価格	数量	単価	補助事業の活用状況	他事業活用の場合の事業名
※該当する機械装置がない場合、直接入力して下さい。①	(税抜) ②	(式・台) ③	(付属機器を除く) ④	⑤	⑥
搾乳ロボット	10,000,000	1		当該事業	

固定表示 (補助事業の活用状況, 他事業活用の場合の事業名)

必須入力 (機械装置名)

入力不要 (他事業活用の場合の事業名)

施設整備等を要望する場合、事業費（税抜）は必須入力です。5 機械装置の導入に伴う飼養管理の改善への取組の3 その他⑩が「○」で、事業費（税抜）が未入力の場合、以下のワーニングメッセージが表示されます。

「スマート農法の認定を受けた場合、機械装置導入に伴う一体的な施設の補改修の支援が受けられます。施設整備の補改修が必要ですか。」

はい を選んだ場合、事業費は必須入力です

いいえ を選んだ場合、施設整備要望の入力は不要です。

「はい」 → 事業費（税抜）は必須入力
「いいえ」 → そのまま登録される



単価	竣工予定 又は 完了年月日	事業費 (税抜)	負担
(/㎡)			補助金 自己

未入力はエラー (事業費欄)

(1) 事業の内容等 《施設整備の要望入力》

- ① 種目：内容が明らかとなるよう実施内容を細目に分けて具体的に入力してください。**【必須入力】**
- ② 施設の構造、規格、能力等：施設の構造等を具体的に入力してください。**【必須入力】**
- ③ 建設面積の増加の有無：「有」、「無」をプルダウンで選択してください。
- ④ 有の場合の面積（㎡）：③が「有」である場合、**【必須入力】**補改修のみ、増改築なしの場合は入力不要です。
- ⑤ 単価（/㎡）：③が「有」である場合、**【必須入力】**補改修のみ、増改築なしの場合は入力不要です。
- ⑥ 竣工予定又は完了年月日：**【必須入力】**過去日付は入力できません。
- ⑦ 事業費（税抜）：**【必須入力】**
- ⑧ 補助金：**【必須入力】**補助金の上限金額は導入予定の機械装置の本体価格の1/2以内とする。
- ⑨ 自己資金：事業費－補助金の値が自動セットされる。

事業内容		建設面積の増加の有無	有の場合の面積（㎡）	単価（/㎡）	竣工予定又は完了年月日	事業費（税抜）	負担区分			補助率	備考
種目	施設の構造、規格、能力						補助金	自己資金	その他		
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨			
牛舎の改築	木造	有	50	500,000	2026/11/11	5,000,000	2,500,000	2,500,000		50.00%	
		無									

1 機械装置の導入と一体的な施設整備の必要性

機械装置の導入と一体的な施設整備の必要性は**【必須入力】**フリー入力ですので、なるべく具体的に内容を入力してください。

1 機械装置の導入と一体的な施設整備の必要性 自動給餌機の導入に対処し、第1牛舎に走行用レールを設置するための通路床部分の整地・補強及び飼料保管庫部分の増築

施設整備チェック

施設整備等要望の入力がすべて終わりましたら、「機械装置の導入と一体的な施設整備の必要性」の項目の横に設置されている**施設整備チェック**のボタンを押下します。
エラー表示（赤セル）がないことを確認してください。エラー表示があれば、該当部分の修正を行なってください。

The diagram shows a button labeled "施設整備チェック" (Facility Maintenance Check) next to a table. The table has columns for "負担区分" (Burden Division) and "備考" (Remarks). Under "負担区分", there are sub-columns for "補助金" (Subsidy), "自己資金" (Self-funding), and "その他" (Others). The "補助金" cell is highlighted in red, and a blue speech bubble with the word "エラー" (Error) points to it. A yellow oval below the button says "エラーがある場合、修正" (If there is an error, correct it).

最終**「チェック」**

すべての入力が完了しましたら、画面上部または画面下部の**「チェック」**ボタンを再度押下して、エラー表示（赤セル）が発生していないことを確認してください。
エラー表示がなければ、これで**入力完了**です。

The diagram shows three buttons: "チェック" (Check) in a green box, "転記" (Record) in a green box, and "クリア" (Clear) in a grey box. Below the buttons, there is a section titled "(入力上の注意点)" (Input Notes) with two points:

1. 事業種目欄は、計画内容が明らかとなるよう細目に分けて具体的に記載すること。
2. 施設の整備が必要な機械装置は令和8年度に導入するものに限るとする。

V 「機械装置入力シート」から「まとめシート（ICT 別添6）」への転記

1 正常終了した「機械装置入力シート」の内容を「まとめシート（ICT 別添6）」へ転記を行ないます。

別添6(第8の2の(1)関係)
令和7年度ICT化等機械装置等導入事業 参加要領書

※機械装置入力シートの「転記」ボタンを押下してください。
(※この注意書は印刷時に表示されません)

高産ICT化推進会議の名称
(都道府県名) []

○ 高産ICT化推進会議推進事業への参加の有無
高産ICT化推進会議推進事業への参加の有無 有 無

高産ICT化推進会議推進事業の取組内容

会議の開催	
事業計画の策定	
労働時間削減用機械装置の選定	
事業成果の検討	

2 エラー表示がすべてなくなった状態で、画面上部または画面下部の「転記」ボタンを押下してください。
入力シートにエラーが残っている場合、転記ができません。

機械装置の入力（酪農用）

チェック 転記 クリア

注意

エラーがある場合はエラーを解消してから転記してください。

エラーがあるため転記できません。

OK キャンセル

3 正常に転記が行われた場合、「まとめシート（ICT 別添6）」には「機械装置入力シート」に入力した内容が反映されています。
内容に問題がないことを確認してください。
同一の応援会議の経営体は同じまとめシートに記載します。

○対象者の機械装置の要望取りまとめ

優先順位	高産ICT化推進会議の名称	労働負担軽減経営体名	機械装置の区分		カテゴリー	施設の整備							
			※1	※2		施設整備の内容	事業費(税抜)	単価(/㎡)	事業費A	消費税B	計(A+B)	補助率	補助金額(A×1/2以内)
	そらち南農協協議会	和牛モー太郎	搾乳関係機械装置	搾乳ロボット		搾乳の改良	9,000,000	4,000,000	129,000,000	12,900,000	141,900,000	50.00%	64,500,000
	そらち南農協協議会	和牛モー太郎	飼料給与関係機械装置	自動給餌機(濃厚・粗飼料)					6,000,000	600,000	6,600,000	50.00%	3,000,000
	そらち南農協協議会	和牛モー太郎	飼料給与関係機械装置	稲わら粉碎機					2,500,000	250,000	2,750,000	50.00%	1,250,000
	そらち南農協協議会	和牛モー太郎	家畜飼養管理機械装置	発情発見装置					1,800,000	180,000	1,980,000	50.00%	900,000

VI 「Excel マクロシート」にファイル名を付ける

経営体 作業

労働負担軽減経営体は、初期状態のファイル名 **01m_rakuraku1-1_000000.xlsm** の **「000000」** 部分を以下のとおり、変更し経営体のファイル名とします。

県番号（半角2桁）＋県内の応援会議コード（半角2桁）＋経営体名又は法人名

- （変更上の注意）**
- 1 個人の経営体名の場合は、姓と名の間にスペースを入れないこと。
 - 2 法人の場合、「株、有」などのいわゆる環境依存文字や、「(株)、(有)」などの「(、)」での省略は使用せず、「株式会社」「有限会社」「農事組合法人」などの正式な日本語で表記すること。

例として、県番号 13（東京）、県内の応援会議コード 01、経営体名又は法人名 株式会社中畜ファーム の場合
 県番号（13）＋県内の応援会議コード（01）＋経営体名又は法人名（株式会社中畜ファーム）となり

01m_rakuraku1-1_1301 株式会社中畜ファーム.xlsm としてください。

これで、「要望調査票」（出力シート（ICT 別添6-1））及び「施設整備要望調査票」（出力シート（ICT 別添6-1別紙））までが作成が終わりました。

- ① 労働負担軽減経営体は、上記「Excel マクロシート」ファイルを所属する応援会議まで送信してください。
 （このファイルの応援会議から道府県畜産協会への送信期限 **5月29日**まで。）
- ② 労働負担軽減経営体は、「出力シート（ICT 別添6-1）及び出力シート（ICT 別添6-1別紙）」をプリントし、「提出書類 確認表」の提出添付資料を確認し、すべての必要な確認ができた時点で、**直筆署名等**を行い、提出書類一式を所属する応援会議まで提出してください。
 （この資料を添付資料とした実施計画書承認申請の応援会議から道府県畜産協会への送信期限 **6月15日**まで）

VIII 参加要望書（別記様式第1号）の作成

応援会議 作業

- 1 応援会議は、まず労働負担軽減経営体から送信された「Excel マクロシート」の中の、**まとめシート（ICT 別添6）**を開いてください。
 このシートは「転記用シート」となっています。
「別添6（第8の2の（1）関係）」様式と一見、様式が同じですが、このシートを提出しないでください。

別添6(第8の2の(1)関係)
 令和7年度ICT活用等機械装置等導入事業 参加要望書

※機械装置入力シートの「転記」ボタンを押下してください。
 （※この注意書きは印刷時に表示されません）

畜産ICT応援会議の名称
 (都道府県名)

○ 畜産ICT応援会議推進事業への参加の有無
 畜産ICT応援会議推進事業への参加の有無 有 無

畜産ICT応援会議推進事業の取組内容

会議の開催
事業計画の策定
労働時間削減用機械装置の選定
事業成果の検討
先進地事例調査
労働時間削減取組も畜産家への指導
その他

※ 該当する項目の欄に○を打つ。(応援会議 記入欄)

○対象者の機械装置の要望取りまとめ

優先順位	畜産ICT応援会議の名称	労働負担軽減経営体名	機械装置					補助金額	単価 (付属機器を除く)	施設整備の内容
			機械装置の区分 ※1	機械装置名 ※2	カタログページ ※3	数量	機械価格 (税別)			
	そらち南酪農協議会	和牛モー太郎	搾乳関係機械装置	搾乳ロボット	115	1	120,000,000	60,000,000		牛舎の改装
	そらち南酪農協議会	和牛モー太郎	飼料給与関係機械装置	自動給餌機(濃厚・粗飼料)	64	1	6,000,000	3,000,000		
	そらち南酪農協議会	和牛モー太郎	飼料給与関係機械装置	稲わら粉碎機		1	2,500,000	1,250,000		
	そらち南酪農協議会	和牛モー太郎	家畜飼養管理機械装置	発情発見装置	106	1	1,800,000	900,000		

2 参加要望書（別添6（第8の2の（1）関係））のファイルは、「畜産ICT事業・楽酪GO事業情報提供ページ」の「2 実施計画書の承認申請書の提出に当たって」の提出ファイルの①参加要望書の畜産ICT：要望様式をダウンロードしてください。

区分	提出ファイル		作成者	提出者
	畜産ICT事業	楽酪GO事業		
①参加要望書	要望様式	要望様式	応援会議	応援会議
②要望調査票 (Excelマクロシート)	酪農 肉生繁殖	酪農	労働負担軽減経営体	応援会議

3 ファイルを開き、左端の「会3」を開きます。
(別添6（第8の2の（1）関係）)



4 **まとめシート（ICT 別添6）**の24行目をコピーして、**別添6 参加要望書**の24行目へ、貼り付けます。
複数の機械装置の要望、複数の労働負担軽減経営体からの要望がある場合は、この作業を繰り返します。

応援会議の名称と都道府県名もコピーして貼り付けます。
楽酪応援会議推進事業への参加の有無も該当する項目があれば、○を付けてください。

畜産ICT応援会議の名称	びらとり畜産クラスター協議会
(都道府県名)	(北海道)

○ 畜産ICT応援会議推進事業への参加の有無

畜産ICT応援会議推進事業への参加の有無	有	無
畜産ICT応援会議推進事業の取組内容	会議の開催 事業計画の策定 労働時間削減用機械装置の選定 事業成果の検討 先進地事例調査 労働時間削減取組む酪農家への指導 その他	

※ 該当する項目の欄に○をする。(応援会議 記入欄)

5 複数の労働負担軽減経営体から要望がある場合は、①「労働時間削減効果分析の結果」が良いもの（数が小さなもの）が高順位となるように並び替えます。
最後に、②「優先順位」を1から順に数値（労働時間削減効果分析の結果が同数値の場合は、優先順位も同数値）を入力して下さい。

優先順位	畜産ICT応援会議の名称	労働負担軽減経営体名	補助対象機械装置		金額	成果目標値 ※4	労働時間削減効果分析の結果 ※5	検証方法 ※6	備考
			機械装置の区分 ※1	機械装置名 ※2					
1	びらとり畜産クラスター協議会	三好 正己	家畜飼養管理機械装置	分娩監視装置	355	▲ 3.8	0.124	※5	2・繁殖
2	びらとり畜産クラスター協議会	藤井 稔	家畜飼養管理機械装置	分娩監視装置	455	▲ 3.8	0.251	※5	2・繁殖
3	びらとり畜産クラスター協議会	有限会社とつかわあくり	家畜飼養管理機械装置	分娩監視装置	750	▲ 0.9	0.337	※5	
②					0		①		

6 作成した別記様式第1号にファイル名を付けてください。

初期状態 r8ict_yobo_yoshiki.xlsx ⇨ ファイル名変更後 **〇〇〇〇_r8ict_yobo_yoshiki.xlsx**



県番号（半角2桁）＋県内の応援会議コード（半角2桁）_（半角アンダーバー）

例として、県番号 13（東京）、県内の応援会議コード 01、の場合、

県番号（13）＋県内の応援会議コード（01）で、**1301_r8ict_yobo_yoshiki.xlsx** となります。

7 応援会議は、作成した「別添6-1」ファイルと、労働負担軽減経営体から提出のあった「Excelマクロシート」ファイルを併せて、5月29日までに道府県畜産協会を經由して、中央畜産会に報告してください。

また、応援会議は、「別添6-1」をプリントアウトし、2で示した「提出書類（応援会議⇨中央畜産会）」にある「実施計画書・応援計画書」を作成・プリントアウトし、労働負担軽減経営体から提出のあった要望調査票関係書類一式を併せて、6月15日までに道府県畜産協会を經由して、中央畜産会に報告してください。

別添 選択可能な組み合わせ

表1 現状の搾乳方式と導入希望機械装置の選択可能な組合せ									
機械装置導入による1頭当たり削減労働時間(時間/頭・年)									
導入希望の機械装置		現状の搾乳方式							
		M1	M2	M3	M4	M5	M6	M7	M8
		48h	40h	46h	38h	34h	42h	34h	7h
自動離脱装置	M2 40h	-8h 申請可	0h 増設可						
手動搬送レール	M3 46h	-2h 申請可	-2h 申請可 注1	0h 不可					
手動搬送レール +自動離脱装置	M4 38h	-10h 申請可	-2h 申請可	-8h 自動離脱のみ 申請可	0h 自動離脱 増設可				
自動搬送レール 自動離脱装置標準装備	M5 34h	-14h 申請可	-6h 申請可	-12h 申請可	-4h 申請可	0h 増設可	不可		
ミルクパーラー (自動離脱装置あり)	M7 34h	-14h 申請可	-6h 申請可	-12h 申請可	-4h 申請可	0h 不可	注2 申請可	0h 方式変更 自動離脱 増設可	
搾乳ロボット	M8 7h	-41h 申請可	-33h 申請可	-39h 申請可	-31h 申請可	-27h 申請可	-35h 申請可	-27h 申請可	0h 不可
各搾乳方式の搾乳牛1頭当たりの搾乳時間(時間/年・頭)	M1: パケット及びパイプライン方式(自動離脱なし) 48時間 M2: パケット及びパイプライン方式(自動離脱あり) 40時間 M3: 搾乳ユニット手動搬送方式(自動離脱なし) 46時間 M4: 搾乳ユニット手動搬送方式(自動離脱あり) 38時間 M5: 搾乳ユニット自動搬送方式 34時間 M6: ミルキングパーラー方式(自動離脱なし) 42時間 M7: ミルキングパーラー方式(自動離脱あり) 34時間 M8: 搾乳ロボット方式 7時間								

注1: 現状の自動離脱装置と導入する搾乳ユニット手動搬送方式とを組み合わせ搾乳ユニット手動搬送方式(自動離脱あり)38hとする
 注2: 現状がミルクパーラー方式(自動離脱装置なし)でミルクパーラー式(自動離脱装置あり)を導入希望の場合、以下2つのケースに分かれます。

ケース1: 現況ミルクパーラー(自動離脱なし)にミルク自動離脱装置のみ導入
 → 要望調査票にミルク自動離脱装置(ミルクパーラー用)をプルダウンリストから選択(メーカー名、型式)して、台数を入力。リストにない場合は、手入力してください。
 ケース2: 新規にミルクパーラー(自動離脱装置あり:標準装備)を導入。
 → 要望調査票にミルクパーラー(メーカー名、型式、台数)のみを入力。

現状の搾乳方式と変更がない以下の場合。

補助対象: 削減労働時間計算書を提出し、専門委員会における承認が必要
 ・パイプライン方式(自動離脱あり) → 自動離脱装置の増設可(専門委員会)
 ・手動搬送方式(自動離脱あり) → 自動離脱装置の増設可(専門委員会)
 ・自動搬送方式 → 自動搬送装置の増設可(専門委員会)
 ・ミルクパーラー(自動離脱あり) → 自動離脱装置の増設可(専門委員会)
 → パーラー方式の変更可(専門委員会)

表2 給餌作業の現況と導入希望装置の組合せ (現況方式は△、導入希望装置は○で示す)				
人力方式	自動給餌 (濃・粗飼料)	自動給餌 (濃厚飼料)	自走式 配餌車	削減労働 時間/頭・年
△43h		○		43-16=27h
△43h			○	43-37=6h
△43h	○			43-14=29h
	○	△16h		16-14=2h
	○		△37h	37-14=23h
		○	△37h	37-16=21h
	○		○	同時申請不可
		○	○	同時申請可
	○	○		同時申請不可 どちらか1つのみ申請可